

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

一般の部

令和八年五月度 入賞句一覧

投句数 六百六十五句

大堀 武直 選

特選



水神に一札をして鮎の竿

東京都世田谷区 関戸 信治

鮎釣解禁は「川明」と云われる。長良川は五月十一日。全国で最も早い。解禁になると大勢の釣り人で賑わう。「水神に一札」には深い意味がある。たくさんの釣果を期待し、鮎の命を頂くことに感謝する。また、水難事故や怪我の無いように祈るなど。

食細くなりたる父や豆の飯

養老郡養老町 佐藤 咲栄

「豆飯」は豌豆や蚕豆や枝豆などを炊き込んだ飯。白い飯に緑の豆が映えて食欲をそそる。父の好物であったのだから。しかし最近はめつきり食べる量が少なくなってきた。父の老いを感じ、心配している様子が伝わってくる。

T字路のカーブミラーに居る神輿

不破郡垂井町 久保田 紘義

「神輿」は祭りの傍題。御神体が乗るとされる輿で、皆で担ぎ街中を練り歩く。祭り当日はいろいろ交通規制もある。T字路で安全確認のためカーブミラーを見ると、神輿が映っている。直接それを見るのとはまた異なる感慨が沸き上がった。

秀逸

石仏の頬をなでいる糸桜

不破郡垂井町 久保田 紘義

藤棚やひとりでに出る昭和歌

大垣市 村井 娑婆

春宵や机の上の月球儀

東京都新宿区 花澤 ちいこ

軽暖の頬杖すんと外れたる

安八郡輪之内町 野村 照子

風光る六文銭の鬼瓦

岐阜市 堀 昌岳

兄弟の声は空まで鯉のぼり

大垣市 久保田 悟義

大声の飛語も漉き込み甘藷植う

本巢市 小泉 裕子

泣くまいと決めて見上げし春夕焼

大垣市 三輪 実

郭公の一鳴きごとに笄せり

兵庫県神戸市 岸下 庄二

緩やかに時を刻むや花の宿

滋賀県大津市 近江 董花

入選

廃屋に家紋の瓦春の月

不破郡垂井町

竹嶋 富美子

花の雲天保樽味噌熟成中

揖斐郡池田町

小川 智恵子

水温むペンの進みはなめらかに

海津市

横井 美圭

竹皮の匂ふむすびに花菜漬

大垣市

早筈 千恵子

さよならは言わぬ約束春夕焼

大垣市

三輪 実

ポケットから住所録出る更衣

大垣市

森田 和子

滑り台初夏の光も滑らせて

大垣市

高田 雅章

草茂る古民家跡の釣瓶井戸

安八郡神戸町

早津 郁男

群をなし一羽遅れて鳥帰る

大垣市

岡田 幸子

発掘の続く伽藍や揚雲雀

神奈川県川崎市

立野 音思

千代紙の折り目きつちり紙兜

三重県鈴鹿市

松井 政典

をちこちに瀬の音城下街涼し

愛知県豊田市

城山 悠水

ランドセル家族見守る花の下

大垣市

長柄 明美

春風や船頭喜寿の渡し舟

本巢市

土川 楽人

無防備な顔して仰ぐ夕桜

東京都武蔵野市

木嶋 純子

選者吟

城門の名残りの小径花は葉に

武直

一般の部

